２０２２年１月２日（降誕後第２主日C年）牧師メッセージ
「すべての民を救う神」
（マタイによる福音書2:1-12）

今日の福音は１月６日の顕現日と同じ箇所を読みます。異邦人である博士たちに救い主の誕生が知らされることで、神の救いがユダヤの民に留まらず、全ての民に及ぶことが明らかにされたことを、顕現日は祝います。イスラエルの民の救いから全人類の救いへ。ユダヤ人が救われ、異邦人は救われない、という救済観からの大転換です。イエス・キリストの誕生によって起こされたこの大転換があったからこそ、今、異邦の地であったわたしたちの所までも、福音が届けられています。

この出来事に象徴されるように、イエス・キリストの誕生は旧約の時代からの決定的な移り変わりを表します。民族や性別、あらゆる違いを超えて、すべての人間に神さまの愛が注がれていること、救いが訪れることがイエス・キリストによって明らかにされました。神がこの世に介入し、救い主がお生まれになる。そして、すべての民に救いが訪れる。エフェソの信徒への手紙では、このことを「キリストによって実現される秘められた計画」（エフェソの信徒への手紙3:3）と言っています。「この計画は、キリスト以前の時代の子らには知らされていませんでしたが、今や“霊”によって、キリストの聖なる使徒や預言者たちに啓示されました。すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属するもの、同じ約束にあずかる者となるということです。」さらには、「わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。」（同3:5～）と言います。

主なる神は星の導きによって博士たちに救い主を現されました。それと同じように、あらゆる被造物を通して、神はわたしたちにメッセージを送られ、そして御子のもとへと導いてくださいます。博士たちがそれに気付き、従ったように、わたしたちも目を凝らし、耳を澄ませ、あらゆる物を通して語られる神のメッセージを聴き、従うなら、博士たちのようにキリストに出会い、キリストを拝む喜びに与ることができます。そしてわたしたちがその御子による救いを信じて生きるならば、すべての民への救いが、わたしたち自身にも訪れます。この救いが私たちに及ぶことが明確に示された「主の顕現」の出来事を、心から感謝し、喜びましょう！（司祭ヨセフ太田信三）